

志和町の地域おこし協力隊員 伊藤かおりからの報告

早いもので今年も残すところあと数週間となってきました。今年も地域の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。昨年飼育していた日本ミツバチの4群は冬場にアカリダニの発生により全滅してしまいましたが、春先から初夏にかけて西志和、志和堀、東志和にそれぞれ3群、2群、1群の計6群の巣箱を設置して、新たに飼育を始めることができました。群れの大きさに大小はありますが、どの群れもそれぞれ順調に成長してくれています。秋には、そのうちの3つの大きな群れからミツバチと自然の恵みへの感謝とともに、お裾分けとしてハチミツをいただきました。

10月28日(木)



昨年に引き続き、「西志和まちづくり自治協議会・地域づくり部会」に主催をいただいて、志和生涯学習センターにて「採蜜会」を開催することができました。地域の方々に手伝っていただきながら、今年度の志和町産ハチミツの採蜜ができました。志和町の自然の恵みへの感謝の気持ちを改めて感じる一日となりました。

9月26日(日)



広島大学の学生さんを対象に、東志和の里山OTTOにて採蜜会を開催しました。巣箱の切り離し作業や巣板の切り取り作業を実地に体験してもらいつつ、日本ミツバチの養蜂と自然環境保全についてお話をしました。

9月7日(火)



11月21日(日)



東志和小学校にて、日本ミツバチの養蜂と環境保全をテーマとした四年生の総合学習授業の講師を務めました。採蜜の様子を録画した動画をみんなで視聴したあとに、ミツバチの生態や受粉媒介の大切さなどを伝えました。採蜜したばかりの巣蜜の味見してもらいました。11月の学習発表会では、生徒さん達が学習内容をまとめてとても素敵な発表をしてくれました。

今後も、「人とミツバチと自然が互いに支えあって生きていくことの大切さ」を地域の未来を担う世代の皆さんへと伝えていく活動にも力を入れていきたいと思っています。

来年もどうぞよろしくお願い申し上げます。新たな年も、皆様にとって良い年でありますように 